



### 流山市手話言語条例のさらなる施策充実を

流政会 青野 直

問 流山市手話言語条例が施行されてから、はや6年が経過した。市内病院をはじめ、社会福祉施設、介護施設、学校、商工会議所、自治会などの各種団体に積極的に情報提供し、手話の普及促進に努めてはどうか。

答 健康福祉部長 手話出前講座の周知については、市ホームページや広報などがやまでの掲載により実施していますが、引き続き機会を捉えて広く情報提供していきます。これらの活動は、全て流山市デフ協会と手話サー

クル連絡協議会との協働により実施されているものです。国では、手話に関する施策の推進に関する法律が施行され、手話に関する施策を総合的に策定・実施することが自治体の責務として明記されたことから、今後も流山市デフ協会と手話サークル連絡協議会のご協力をいただきながら、条例の周知や理解の促進を図っていきます。



### 若者の居場所づくりについて

公明党 野村 誠

問 市内2か所で「若者のための居場所」がオープンすると市ホームページで公表された。この事業は、孤立防止や交流促進の観点からも、大変重要な施策であると考え、開設するに至った経緯は。また、どのような目的、期待を込めているのか。

答 子ども家庭部長 令和5年度実施の流山市子ども・若者意識調査で、中高生に利用したい施設を尋ねたところ、友人と雑談や飲食ができるスペースがある、勉強、読書、パソコンなどができ

る、特に理由がなく過ごすことができるなどの回答が多数ありました。こうした声を受け止め、中高生や若者が気軽に立ち寄り、安心して自由に過ごすことができる居場所の提供が子ども・若者の成長を促すことにつながるものと考え、信頼できる他者との出会いや自分のペースでやりたいことに取り組む機会を提供し、自己肯定感向上につながる支援を行いながら、居場所を拠点に若者と共によりよい地域づくりを推進してまいります。



### 外国人観光ガイドを実施して 見えてきた課題

森田 洋一

問 フランス人をガイドしたが、ウェブ検索で近距離・短時間移動の表示でも、バスや電車の乗り換えで実際はさらに時間がかかり、タクシーがないこともある。市でも実態を把握し、観光冊子の情報を机上の空論にならないようにすべきでは。

答 経済振興部長 大阪・関西万博の出展の際には、本市職員にとって土地勘のない場所での移動であったため、ウェブで調べて会場まで移動しましたが、実際は電車乗り継ぎに時間がかかるなど、効

率の良い移動ができませんでした。議員ご指摘のとおり、経験に基づく情報が重要と再認識したところで、本市発行の「ことりっぷ流山本町」では、各駅から流山本町へのアクセスを所要時間とともに掲載していますが、これは本市職員や冊子制作会社が実際に確認したものです。また、電話やメールでの問い合わせには、出発地を伺った上で最適ルートを提案しています。引き続き、来訪者に分かりやすい情報を提供してまいります。



### ミニバスケットボールのルール変更について

流政会 川本 大岳

問 ミニバスケットボールのルール変更が検討されています。主な変更点は、リングの高さ、使用ボール、スリーポイントライン導入の3点です。ルール変更について、どのような情報を把握していますか。

答 生涯学習部長 公益財団法人日本バスケット協会から正式にミニバスケットボールのルール変更は聞いておらず、県の動向を注視していきま

種団体からルール変更を行うとは聞いておらず、特に対応する予定はないとのことでした。また、県内他市の動向について、一般財団法人千葉県バスケットボール協会に確認したところ、今年度の県大会や関東大会は現行ルールで開催するとのことでした。引き続き、バスケットボール協会や県内他市の動向を注視してまいります。



### 住み続ける価値の高い まちづくりに向けて

流政会 渡辺 仁二

問 開発行為外住宅で既存のごみ集積所を利用しながらも、自治会に未加入でトラブルが多発している。市は不動産団体と協定し、売買契約時にもちろん、賃貸借契約時の重要事項説明書でも、自治会加入や集積所管理体制の説明を促すべきでは。

答 市民生活部長 条例に基づく事前協議対象事業では、事業者への自治会加入促進の周知依頼やごみ集積所に係る協議を

事業者の判断によるものとなります。結果として、居住場所の自治会やごみ集積所の管理といった居住地域の情報を、居住開始時まで知る機会がないケースもあると考えます。物件購入者や賃借人に対する、契約段階での自治会への加入促進や、地域の情報をあらかじめ周知することは非常に重要であり、トラブルを未然に防止するために有効な手法と考えることから、今後、不動産関連団体と協定を結ぶことを目指して、協議を進めてまいります。



### 小中学校体育館の断熱対策について

流政会 笠原 久恵

問 ①令和5年第3回定例会の一般質問で取り上げた小中学校の体育館の断熱について、二重サッシの提案などもしたが、その後の検討状況はどうか。②複層ガラスの効果はどうか。③体育館の断熱について、今後どのように進めていくのか。

答 教育総務部長 ①江戸川台小学校のリニューアル工事における体育館の全面改修工事の中で、断熱改修を実施しています。既存の屋根の上に断熱材を敷き込み、その上に新たな屋根をふくこと

で、断熱性能の向上を図っています。また、外壁は遮熱塗料による塗装改修を実施し、サッシはカービ工法によるアルミサッシへの更新と複層ガラスへの交換により、遮熱と断熱性能の向上を図っています。②複層ガラスへの交換により、熱貫流率の値が2・2倍程度向上するとされています。③今後実施するリニューアル工事において、各施設の状態を十分把握した上で、適切かつ効果的な断熱改修を進めてまいります。



### 里山壊す農地改良 残土搬入に規制を

阿部 治正

問 流山市みどりの基本計画の保全配慮地区に指定されている野々下地区において、農地一時転用許可を受け行われている造成工事は、農地改良・農作物の生産というよりも、建設残土の埋め立てである。市はどのように対応するのか。

答 農業委員会事務局長 農地の一時転用許可を受けた土地で造成工事などが行われ、その目的と実態との乖離が見られた場合の市の対応については、

まず目的と造成工事に乖離が見られた場合には修正を求めます。次に、許可後に申請内容と異なる点が見つかった場合は、申請ないし内容ごとの施工を行うよう指導します。なお、当初の計画を変更しても転用の目的を



### 子どもたちの多様な居場所について

流政会 小沢 えみり

問 ①夏休みや放課後のこどもの居場所について、学童クラブには預けられないが、預け先を必要とする家庭のニーズを市としてどの程度把握しているか。②民間の支援団体の持続可能な運営支援や保護者への補助を充実すべきと考えるが、どうか。

答 子ども家庭部長 ①流山市こども計画策定の際に学童クラブの利用に関するニーズ調査を行いました。ご指摘のようなニーズ調査は行っていません。②民間団体の支

援や保護者への補助については、こどもを預ける場所として対応している事業所などは他にも複数あることなどから、施策の優先度などの観点からも、現時点で子ども家庭部として補助を行う予定はありませんが、引き続き、広報活動のサポートや活動に有益な情報の提供など、独自性や自由度の高い民間団体の活動を、側面から支援してまいります。

